



ULTRA DRIVE (Android 版)

ユーザーガイド

Last update 2016.01.15

Ver.2.0.5

■ ULTRA DRIVE とは

インターネット上（クラウド）に大切なデータを保存することが出来る便利なアプリケーション（オンラインストレージ）です。

■ 本資料について

ULTRA DRIVE サービスは、マイナーバージョンアップ等もあるため、実際のクライアントと本資料に差分が発生する場合があります。

■ 更新履歴

日付	Version	更新内容	備考
	1.0.0	初版作成	
2016.01.15	2.0.5	全体体裁修正	Android v1.0.6

■目次

1. ULTRA DRIVE (ANDROID 版) のインストール方法	5
2. 対応環境/機能一覧.....	5
3. アカウント設定	7
4. ファイルのアップロードとダウンロード	8
4.1 ファイルのアップロード	8
4.2 ファイルのダウンロード	10
5. ごみ箱	12
5.1 ファイルを削除する	12
5.2 ファイルを復元する	13
5.3 ファイルを完全に削除する.....	14
6. 操作履歴の確認	15
7. アクセスチケットの作成(フォルダ/ファイルの公開)	16
7.1 フォルダの公開.....	16
7.2 アクセスチケットの公開フォルダへファイルをアップロード	20
7.3 公開フォルダからファイルをダウンロード	20
7.4 ファイルの公開.....	21
8. アクセスチケットの管理	24
8.1 アクセスチケットを管理する.....	24
8.2 アクセスチケットを編集する.....	25
9. ショートカットの作成	26
10. インスタントアップロード.....	27
11. イメージプレビュー	30
12. 更新通知.....	31
13. 利用容量の確認	32
14. フォルダの作成	32
15. SYNC(同期)	34

15.1	同期機能の設定について	34
15.2	同期機能の設定方法	34
15.3	SYNC フォルダを開く	35
15.4	ULTRA DRIVE 上の SYNC フォルダを開く	36
15.5	ローカル側 SYNC フォルダと同期する	37

1. ULTRA DRIVE (Android 版) のインストール方法

ULTRA DRIVE (Android 版) は Google Play からインストールすることができます。
Google Play から、「ULTRA DRIVE」または「ウルトラドライブ」を検索しインストールしてください。

2. 対応環境/機能一覧

Android OS 2.2 以降 (※OS 2.3 以上推奨)

※Android 6.0 には対応していません。

ファイルのアップロードとダウンロード	ULTRA DRIVE 上にファイルをアップロード、またはローカル (端末側) にダウンロードします。
ごみ箱	不要なファイルやフォルダをごみ箱に入れることができます。ごみ箱から元に戻すこともできます。 ごみ箱から削除するとデータは完全に削除されます。
操作履歴の確認	どのような方法でファイルを操作したか履歴を確認できます。
アクセスチケットの作成	ファイルやフォルダを公開する URL を発行します。 パスワード、ダウンロード上限回数、有効期限を設定できます。
アクセスチケットの管理	公開したファイルやフォルダを一覧表示します。パスワード、ダウンロード回数の上限、有効期限を再設定できます。
ショートカットの作成	任意のフォルダへのショートカットを作成することができます。
インスタントアップロード	端末のカメラで撮影したファイルを、自動で ULTRA DRIVE 上にアップロードすることができます。
イメージプレビュー	アップロードされた画像ファイルをプレビュー画面で見ることができます。 同一フォルダ内の画像をフリック操作で順に表示できます。
更新通知	他のクライアントや WebUI から ULTRA DRIVE の内容を変更した場合、その旨を通知します。
利用容量の確認	ULTRA DRIVE の現在の使用容量を確認できます。
新規ファイル/フォルダの作成	ULTRA DRIVE 上に新規ファイル(テキスト)やフォルダを作成することができます。
Sync (同期)	ULTRA DRIVE の Sync フォルダ と、端末に作成した Sync フォルダとの間で同期を行います。

3. アカウント設定

初回起動時にアカウント設定を行います。

1. 「ULTRA DRIVE」をタップし立ち上げます。
2. メールアドレス（アカウント名）・パスワードを入力します。
3. 更新通知の有無を決めます。
他のクライアントや Web ブラウザから、ULTRA DRIVE の内容を変更された際、更新通知を受け取る場合はチェックを入れます。
4. 「保存」をタップするとログインします。
ログインするとトップ画面が表示されます。



4. ファイルのアップロードとダウンロード

4.1 ファイルのアップロード

ローカル（端末）にあるファイルを、ULTRA DRIVE
にアップロードします。

1. トップ画面にある「ファイルの一覧」をタップします。

2. アップロード先のフォルダをタップします。
ここでは「testfolder1」（空フォルダ）とします。

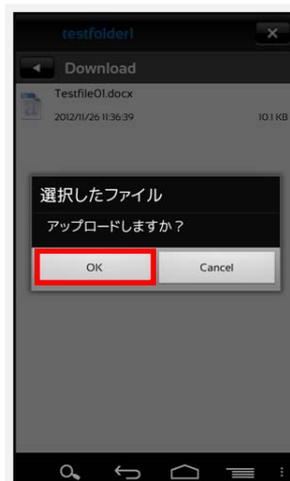
3. 画面右上のアイコンをタップします。

4. アップロードするファイルを選択します。
ローカル（端末側）のフォルダが表示されます。



5. ファイルを選択すると、アップロードの確認画面が表示されます。「OK」をタップします。

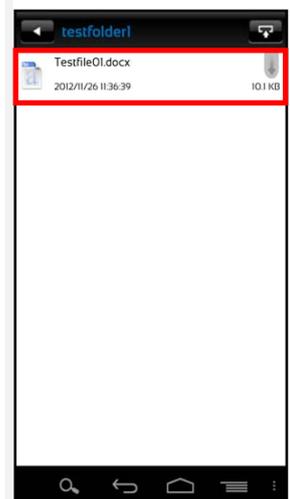
ここでは「Testfile01.docx」をアップロードします。



6. アップロードが開始されます。



7. アップロードが完了すると、アップロード先フォルダにファイルが表示されます。



※ アップロードの注意点

ULTRA DRIVE にあるファイルと名前がアルファベットの大文字/小文字しか違いのないファイルを同じ場所へアップロードすることはサポートしていません。

例：ファイル「TEST.txt」がある場所へ、ファイル「test.txt」をアップロード

4.2 ファイルのダウンロード

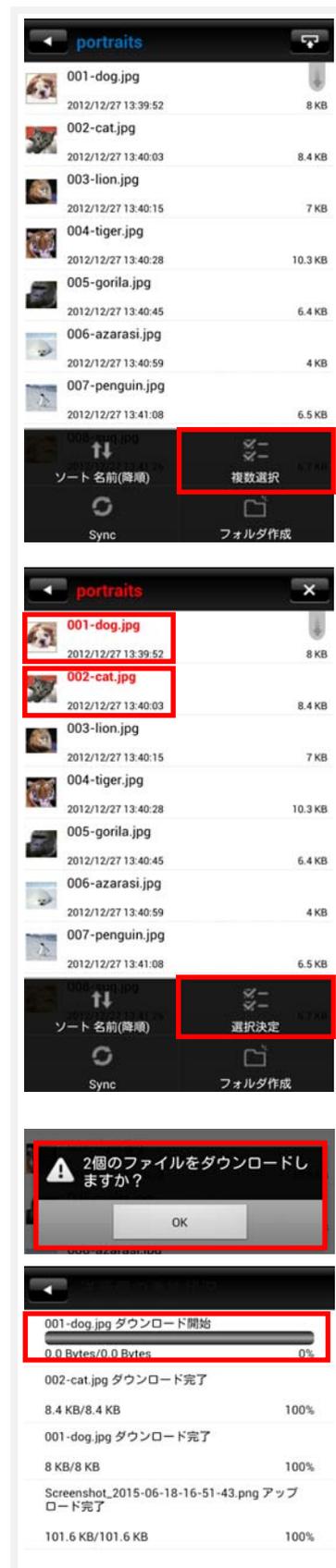
ダウンロードしたファイルは、ローカル（端末）の「Download」フォルダに保存されます。

1. ダウンロードするファイルを一覧画面に表示させ、画面下の設定メニューより「複数選択」をタップし、ファイル選択モードに切り替えます。

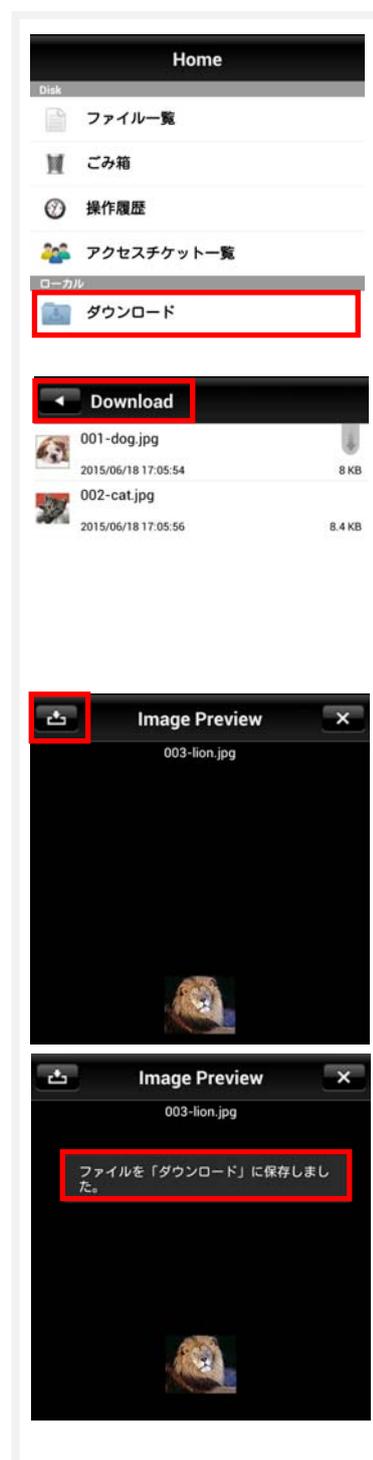
2. ダウンロードするファイルをタップしてファイル名を赤色に変更します。

同時に複数のファイルを指定することができます。ファイルを選択したら、設定メニューより「選択決定」をタップしてダウンロードを開始します。

3. ダウンロード確認画面が表示されるので「OK」をタップすると、ダウンロードを開始します。



4. ダウンロード完了後、トップの画面より「Download」フォルダを開くことで、ダウンロードしたファイルを確認することができます。
5. ファイルをダウンロードする他の方法として、画像ファイルのプレビュー画面の左上に表示するダウンロードボタンをタップすることで、プレビュー表示しているファイルをダウンロードすることができます。



5. ごみ箱

5.1 ファイルを削除する

1. ULTRA DRIVE 上のファイルから削除したいファイル名を長押しします。

操作メニューが表示されたら「削除」をタップします。

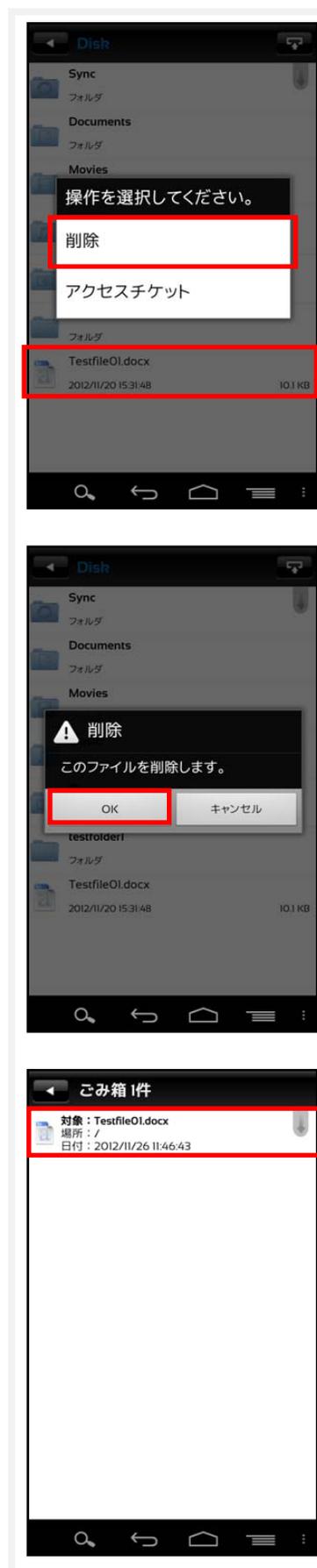
ここでは「Testfile01.docx」を削除します。

2. 確認画面が表示されたら「OK」をタップします。

3. トップ画面>ファイル一覧>ごみ箱

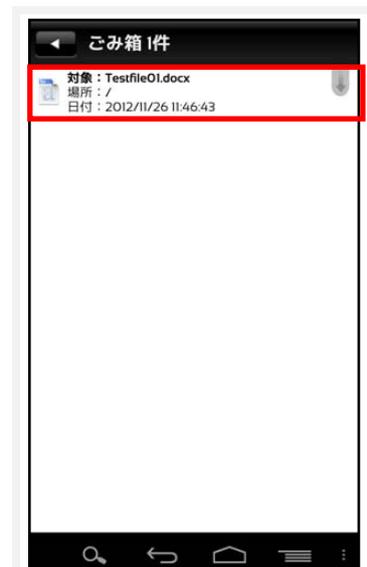
2 で削除されたファイルが移動されています。

- ※ ULTRA DRIVE からデータは削除されていません。
ごみ箱フォルダの中に保存されている状態となります。
次項の通り、復元することが可能です。



5.2 ファイルを復元する

1. ごみ箱にある復元したいファイルを長押しします。



2. 操作選択画面が表示されるので「復元」をタップします。
復元したファイルは元の場所に戻ります。



5.3 ファイルを完全に削除する

ULTRA DRIVE 上からファイルやフォルダを完全に削除します。

完全削除すると復元はできませんので、ご注意ください。

1. ごみ箱にあるファイル・フォルダを長押しすると右画面が表示されるので「完全削除」をタップします。
2. 確認画面が表示されたら「OK」をタップします。
3. ごみ箱からも削除され、ULTRA DRIVE から完全削除されます。



6. 操作履歴の確認

ファイルやフォルダの操作時間、操作内容を確認することができます。

1. トップ画面の「操作履歴」をタップします。



2. 操作履歴が表示されます。

以下の項目を確認することができます。

- 対象
操作されたファイルやフォルダ。
- 場所
対象が置かれている ULTRA DRIVE 内の配置。
トップ画面は「/ (ルート)」と表示されます。
- 操作
更新や削除などの操作内容。
- 日時
操作が行われた日時。
- 操作場所
他の Android 端末などの操作元。



※操作履歴の表示数は最大 200 件です。

7. アクセスチケットの作成(フォルダ/ファイルの公開)

ULTRA DRIVE 上にあるフォルダやファイルを公開する URL (=アクセスチケット) を生成します。以下の制限を設定することができます。

種別	概要	詳細
フォルダ	アクセス制限	アップロードのみ許可、ダウンロードのみ許可 両方を許可
	期限	カレンダーで公開を終了する日付を設定
	パスワード (必須)	URL にパスワードを設定
ファイル	ダウンロード上限数	制限なし、1~100 回
	期限	カレンダーで公開を終了する日付を指定
	パスワード (任意)	URL にパスワードを設定

アクセスチケット対応ブラウザ

【Windows】 Internet Explorer8.0 以上 Firefox v14 以上 GoogleChrome v21 以上

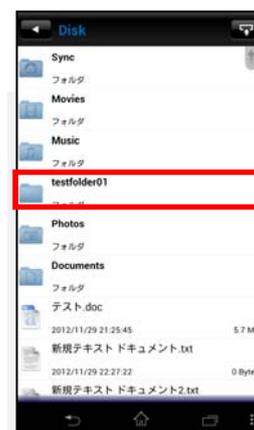
【Mac】 Safari v5.1 以上 Firefox v13 以上 GoogleChrome v20 以上

【iOS】 Safari v5.1 以上 (iOS 5 の標準ブラウザ)

【Android】 Android 2.3.6 以上の標準ブラウザ、Chrome(nexus7 の標準ブラウザ)

7.1 フォルダの公開

1. 公開したいフォルダを長押しします。
ここでは、「testfolder01」を公開します。



2. 操作選択画面が表示されます。
「アクセスチケット」をタップします。

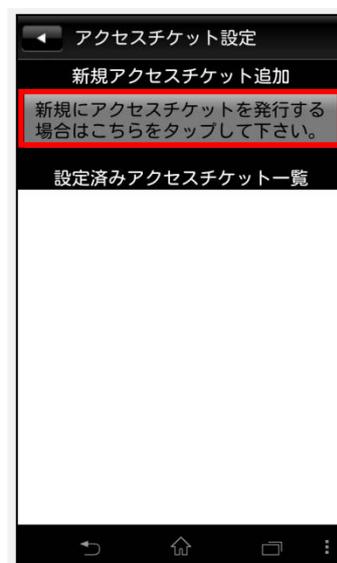


3. 「新規にアクセスチケットを発行する場合はこちらをタップして下さい」をタップします。

4. 制限を設定する画面が表示されます。
設定したのち、画面右上の「OK」をタップします。

※フォルダのパスワード設定は必須となります。

5. フォルダが公開されます。
発行されたアクセスチケットは、画面中央に表示されます。画面左上の矢印ボタンで、ファイル一覧に戻ります。

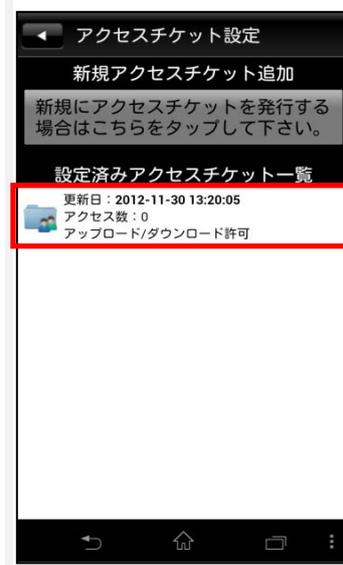
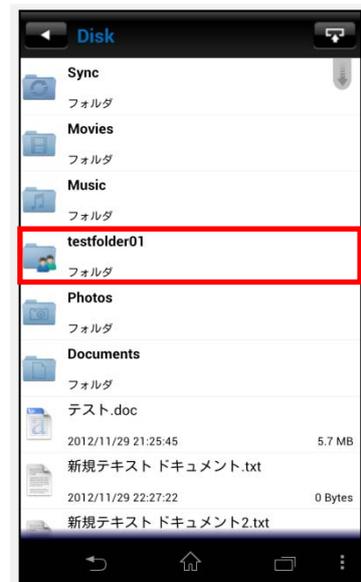


6. 公開されたフォルダのアイコンは
このように変わります。



7. 生成された URL を表示し、通知します。
公開フォルダを長押しして表示される
メニューの「アクセスチケット」をタップします。

8. 画面中央にあるアクセスチケットをタップします。



9. URL が表示されます。

「OK」をタップすると、アプリケーション選択欄が表示されますので適切なアプリケーションを選択します。

※ メールアプリケーションを推奨いたします。

(Gmail や通信キャリアのメールアプリケーションなど) メールアプリケーションを選択した場合は、本文に「以下の URL をクリックしてください <https://user.ultradrive.jp/ticketgate/<アクセスチケット識別子>>」というメッセージが表示された状態となります。



10. Web ブラウザでアクセスチケットとして発行された URL にアクセスすると右画面が表示されます。

※対応ブラウザは P16 ご参照



11. パスワードを入力してアクセスすると右画面になります。

右画面の例はアクセスチケットの設定でアップロード・ダウンロードを許可された空フォルダです。新しいフォルダの作成やファイル/フォルダの削除が出来ます。



12. ファイルが入っているフォルダは右画面になります。



7.2 アクセスチケットの公開フォルダへファイルをアップロード

1. 画面上部の「アップロード」をクリックします。



2. 右のウィンドウが表示されます。
ウィンドウ中央のグレーの部分にファイルをドラッグアンドドロップしてアップロードします。または、「ファイルを選択」ボタンをクリックし、ファイルを選択してアップロードをすることも出来ます。



※ ドラッグアンドドロップによるアップロードは Internet Explorer 9 および Safari5.1 には対応しておりません。

7.3 公開フォルダからファイルをダウンロード

ファイル名をクリックすると
即座にダウンロードが始まります。
もしくは、ファイル名の左側にあるチェックボックスにチェックを入れると画面右側にファイルの詳細とダウンロードボタンが表示されますのでそちらをクリックします。

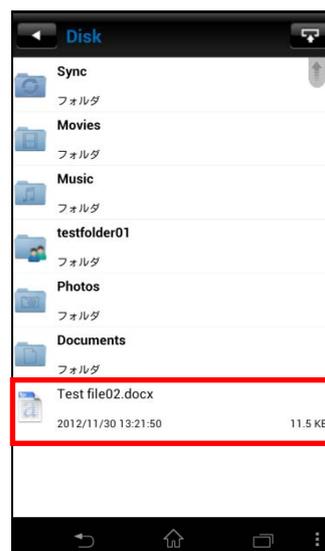


チェックボックスでファイルを複数選択して一括ダウンロードすることも出来ます。



7.4 ファイルの公開

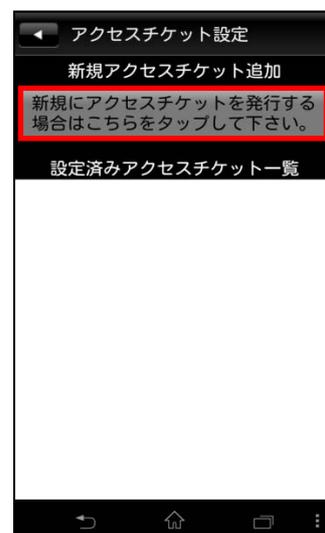
1. 公開したいファイルを長押しします。
ここでは「Testfile02.docx」を公開します。



2. 操作選択画面が表示されます。
「アクセスチケット」をタップします。



3. 「新規にアクセスチケットを発行する場合は「こちらをタップして下さい」をタップします。



4. 制限を設定する画面が表示されます。

設定したのち、画面右上の「OK」をタップします。

※ファイルのパスワード設定は任意です



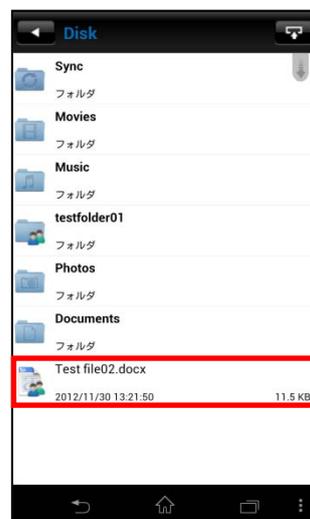
5. ファイルが公開されました。

発行されたアクセスチケットは、画面中央に表示されます。

画面左上の矢印ボタンで、ファイル一覧に戻ります。



6. 公開されたファイルのアイコンは
このように変わります。



7. 生成された URL を表示し、通知します。

手順は、「6.1.フォルダの公開」の手順7～9 と同じです。

8. Web ブラウザで URL にアクセスすると
右のような画面になります。

画面中央の「ダウンロード」ボタンをクリックすると、ダウンロードを開始します。



8. アクセスチケットの管理

8.1 アクセスチケットを管理する

1. トップ画面より「アクセスチケット一覧」をタップします。

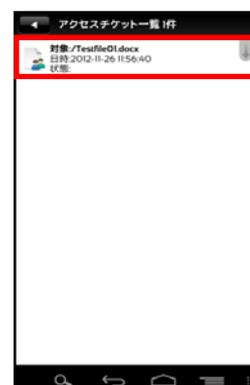


2. 公開されているアクセスチケットの一覧が表示されます。



8.2 アクセスチケットを編集する

1. アクセスチケットを編集する場合は「アクセスチケット一覧」画面より、編集したいファイルを長押しします。



2. アクセスチケットメニュー画面が表示されるので「チケットの編集」をタップします。



3. アクセスチケット設定画面で編集が出来ます。編集後、右上の「OK」をタップします。



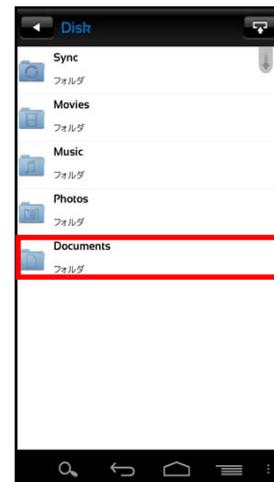
4. アクセスチケットが更新されます。



9. ショートカットの作成

ショートカットとは、指定するフォルダに対し簡単にアクセスする事が出来る機能です。

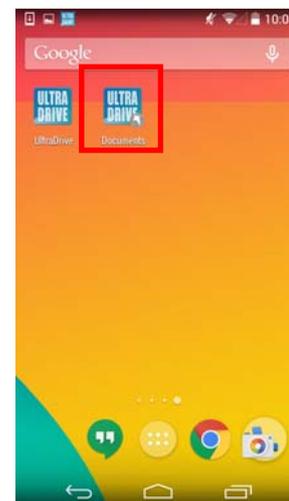
1. ショートカットを作成したいフォルダを長押しします。



2. 操作選択画面が表示されるので「ショートカットの作成」をタップします。



3. ご利用端末のホーム画面にショートカットアイコンが表示されます。



ショートカットアイコンをタップすると「1」で指定したフォルダが表示されます。

10. インスタントアップロード

インスタントアップロード機能とは、ご利用端末で撮影した写真を自動で ULTRA DRIVE 上にアップロード出来る機能です。

※ 本機能を有効にした時点以降の写真を自動でアップロードすることができます。

1. トップ画面右下にある Android の設定ボタンをタップします。



2. 表示された左下の「設定」ボタンをタップすると「アカウント設定画面」が表示されます。



3. 「インスタントアップロード」のチェックボックスをタップしチェックを入れます。



4. 初めてチェックを入れると、画像ファイルが標準で保存される「DCIM」というフォルダにあるファイルを全て ULTRA DRIVE へアップロードするか問われます。

「OK」をタップすると、アップロードが開始されます。
「Cancel」をタップすると、設定画面に戻ります。
以後、インスタントアップロードの ON/OFF を切り替えてもこのダイアログは表示されなくなります。



5. ダイアログで「OK」をタップした場合

アップロードが開始されます。

戻るボタン  をタップしてトップ画面に戻り

Andorid の設定ボタン  をタップします。

メニューが表示されたら、「タスク」をタップします。



6. タスク画面には「DICM」フォルダにあるファイルの

アップロードの進捗が表示されます。

フォルダ内の全てのファイルがアップロードされるまで継続されます。



7. 「3G 環境でのアップロード」を設定します。

オン：Wi-Fi 環境が利用出来ない場合はチェックを入れます。

オフ：Wi-Fi 環境で利用する場合はチェックを外します。



8. DCIM フォルダの選択

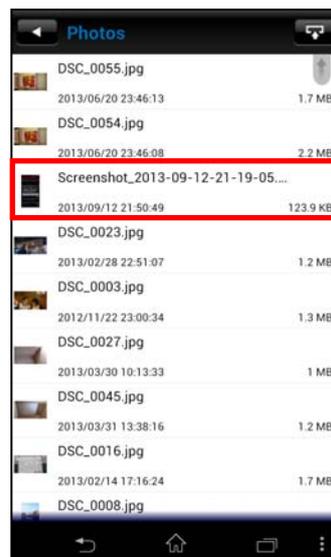
端末機種仕様により、初期設定では本機能が有効にならない場合があります。その場合、Android スマートフォンで撮影した写真が保存されるフォルダ(DCIM)を指定します。ULTRA DRIVE インストール時は、「storage/emulated/0/DCIM」が指定されています。



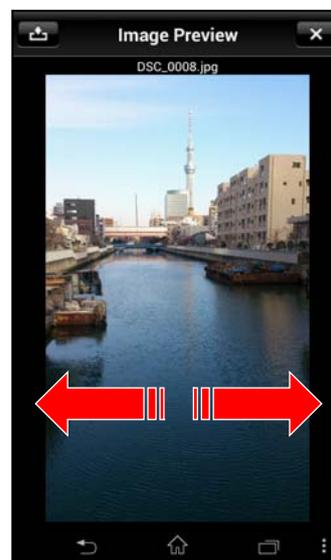
11. イメージプレビュー

イメージプレビュー機能とは、ULTRA DRIVE 上にアップロードされた画像ファイルを、ダウンロードすることなく表示させることができる機能です。

1. 画像ファイルがアップロードされている ULTRA DRIVE のフォルダから 画像ファイルをタップします。



2. 画像ファイルのプレビュー画面が表示されます。同じフォルダに他にも画像ファイルがある場合、左右にフリックすることで、そのまま次の画像を見ることができます。



12. 更新通知

1. アカウント設定画面(前ページ参照)を開き、「更新通知を受け取る」にチェックを入れます。



2. 右画面が更新通知時の画面です。



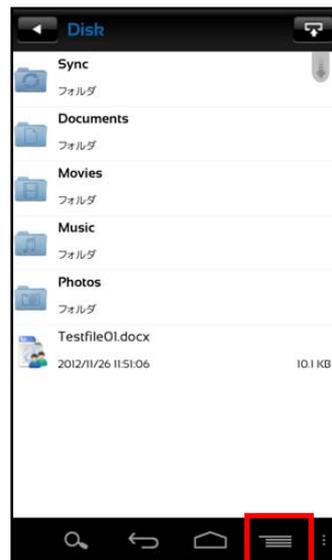
13. 利用容量の確認

トップ画面よりアカウント設定画面を開くと「現在の契約と容量」で現在の使用容量を確認することが出来ます。

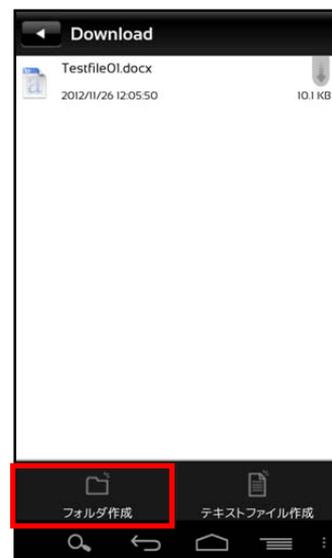


14. フォルダの作成

1. トップ画面から「ファイル一覧」を開き、新規フォルダを作成したい階層で右下の設定ボタンをタップします。



2. 「フォルダ作成」をタップします。



3. 任意のフォルダ名を入力し、OK をタップするとフォルダが作成されます。



※ フォルダ作成の注意点

ULTRA DRIVE にあるフォルダと名前がアルファベットの大文字/小文字しか違いのないフォルダを同じ場所で作成することはサポートしていません。

例：フォルダ「Sample」がある場所で、フォルダ「sample」を作成

15. Sync(同期)

15.1 同期機能の設定について

設定項目	内容
3G 環境での同期実行 ※LTE 通信も含まれます	<ul style="list-style-type: none">・チェックなし（初期値）： 携帯端末における通信を利用して Sync 機能を利用しません。・チェックあり： 携帯端末における通信を利用して Sync 機能を利用出来ます。
同期時のファイルサイズ制限	<ul style="list-style-type: none">・チェックなし（初期値）： 同期実施時において、ファイルサイズの制限を行いません。・チェックあり： モバイル通信時において 20MB 以上のファイルを同期しません。

※ モバイル通信（3G 環境/LTE 環境含みます）の負担を減らすため、初期設定では Wi-Fi 通信の利用時のみ同期が実行されます。

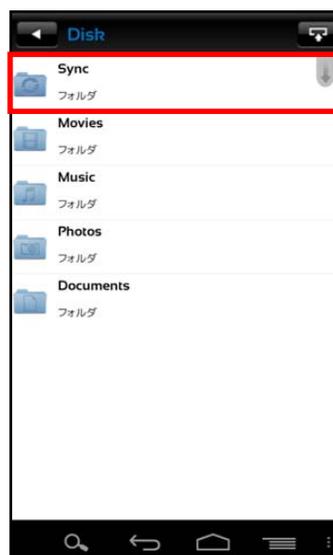
15.2 同期機能の設定方法

アカウント設定画面をタップしてチェックをすることで機能の設定を変更出来ます。

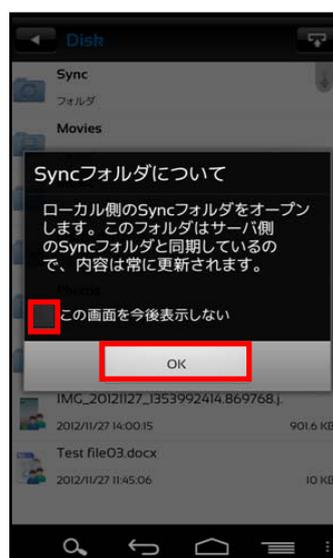


15.3 Sync フォルダを開く

1. トップ画面より「ファイル一覧」を開き Sync フォルダをタップします。



2. 右の画面が表示されます。「OK」をタップします。都度表示の必要がない場合には、チェックボタンをタップします。



3. ローカル側の Sync フォルダが表示されます。



15.4 ULTRA DRIVE 上の Sync フォルダを開く

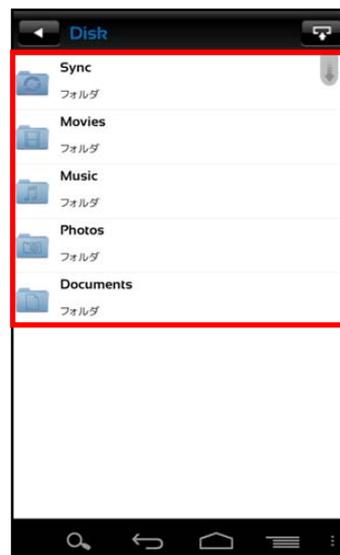
1. ローカル側 Sync フォルダ画面で右下の「設定」ボタンをタップします。



2. 「サーバ側の Sync フォルダを開く」をタップします。



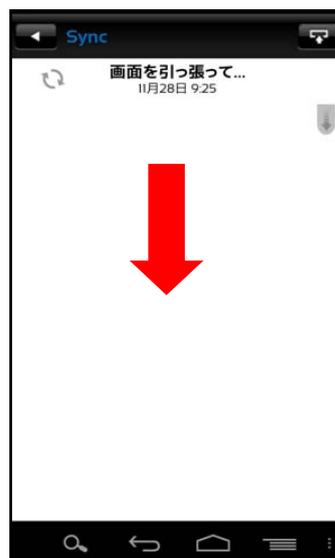
3. サーバ側のフォルダが表示されます。



15.5 ローカル側 Sync フォルダと同期する

ULTRA DRIVE 上の Sync フォルダとローカル側 Sync フォルダを同期します。

1. ローカル側 Sync フォルダで画面をタッチし下方向にフリックします。



2. 同期が完了するとファイルが表示されます。



以上